

「全国縦断ブロック9・16関東集会」に

二〇〇〇名が結集し戦闘宣言

政府・空港公団の今秋二期着工宣言により、緊迫する三里塚現地において「全国縦断ブロック9・16関東集会」が開催され、成田用水二期着工攻撃を断固粉碎しぬく戦闘宣言が発せられた。

二期強行を狙う
機動隊の凶暴な
弾圧を許すな

布施書記長が「国鉄―三里塚」
決戦に勝利する決意を表明



緊迫する菱田現地で「決戦勝利」の大シュプレヒコール。

第9回定期大会において、9・16を突破口に3・25を上まわる10・10の大結集の実現を決定した動労千葉は、この日雨をもものともせず百名が結集し、成田運転区で前段集会を開いた後、バスで現地へ出発した。

つづいて住民団体の決意表明にうつり、最初に動労千葉を代表して布施書記長が登場した。布施書記長は第一に、第9回動労千葉定期大会において「三里塚、国鉄を基軸に反動中曽根を打倒する」方針を確立し、首切り「三本柱」をはじめとする未曾有の国鉄労働運動解体攻撃に対し、自民党、国鉄当局の手先「動労本部」革マルの敵対を打ち破り、断固反撃の闘いに決起すること、第二に、労農連帯を堅持し、成田用水二期着工を全力で粉碎し、10・10に3・25五割動員を上まわる動員をもちとること。第三に、総じて中曽根の軍事大国化・改憲のための最大の障害物「国鉄」「三里塚」破壊の攻撃に対し、反対同盟19年間の闘いに学び、徹底非妥協の闘いを貫き、労働者の未来のなかった今秋、年末決戦に勝利するとの決意を高らかに宣言した。

「9・25用水着工予定」を粉碎しよう

集会は、忍草母の会を先頭に関東各地の各戦線で闘う仲間の決意表明を受けた後、敷地内農民を代表して市東東市さん、婦人行動隊から瓜生あいさん、青年行動隊から清宮芳幸さんがたち、「成田用水二期着工粉碎にむけ、10・10への大結集」が呼びかけられた。

集会宣言を採択した後、菱田地区内3キロのデモ行進に出発、機動隊の弾圧を打ち破り「9・25用水着工予定」粉碎、二期阻止、10・10空前の大結集実現、三里塚闘争勝利の決意を示しぬき、9・16闘争貫徹した。

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！
10.10空前の大結集で
用水・二期を阻止するぞ

成田用水二期強行着工を狙う公団は権力・機動隊を前面にたて、検問、車内検索、身体検査等、たび重なる挑発、弾圧を加えてきたが、動労千葉は断固これに抗議しはねのけて集会に結集していった。

集会は、稲をかりとったばかりの菱田の田んぼで、関東各都県から二千名が結集する中、反対同盟の萩原勇一さん秋葉恵美子さんの司会で始まった。

用水粉碎、二期阻止の決意に燃える島村良助さんの開会宣言、小川嘉吉さんの主催者代表あいさつにつづき、北原事務局長が基調提起を行った。北原事務局長は「8月28日、運輸省は二期推進のために22億の概算要求を決定し、機動隊を常駐させ、農民の生活を脅かし二期につき進んでいる。機動隊は公団の庸兵であり、人民の怒りで粉碎されてしかるべきだ。また3・8以降、脱落した部分は「用水反対」といながら何ら闘おうとしない。どちらが真実が増々はつきりしている。今日、動労千葉の労働者が大挙参加しているが立派だと思ふ。労働者がどう闘うべきかの進路を指示し、全国で大きな共感を呼んでいる。10・10は重大な意味をもっており、中曽根の反動攻撃と闘い勝利する道は三里塚闘争であり、全力で闘いぬこう」と提起し、全参加者の拍手でこれを確認した。

◆（おことわり）『日刊』第一七四六号（九月一九日付）は、会計監査報告の内容ですので、組織内のみ配布の扱いと致しました。